



「学年通信」は、生徒の皆さんが読み終わった後、必ず保護者の方に渡してください

## 友よ 我等は語り合う

2学年主任 野村 明日香

すがすがしい朝の空気の中、カッコウの声がこだまする季節となりました。2年生初の定期試験はいかがでしたか。授業や振り返りシートからみさなさんが予習をしたり、課題に真摯に取り組む姿がみられたりして意識の高さを感じます。5月20日(月)に行われたキャリアオリエンテーションでは定期試験の前日ではありましたが代々木ゼミナールの光野様から大学入試のお話をいただき、みなメモを取りながら聞き入っていました。どんな話が心に響いたでしょうか。配布された資料の9ページに進路実現のためにという項目があります。楽な方法でプラスになることはない「安易に答えを求めず、深く考える」、高校生活を大切に「勉強や行事、部活、遊びもやるときはやる」とあります。

これから学園祭準備期間に入りますね。教育実習生もやってきます。定期試験に向けて、答えよりも問いを大事にしながら(しましたよね)友と学び合う姿がありました。学園祭に向けて友と大いに語り合い、ルールをしっかり守った上で創作活動を楽しんでもらいたいと思います。学校だから経験できることに思いっきり取り組みましょう。一生懸命になると意見のぶつかり合いもあるでしょう。そんなときは自分の意見を伝えながら相手の意見も尊重し、建設的な話し合いとなるようにしてください。どうしても困ったら先生に相談してください。個人的なことになっていないか、攻撃的になっていないか等 SNS を通して意志を伝えるときは慎重に、何のためなのか書いた文字を再度読んでください。議論は学校でしてほしいと願います。気づき、考え、行動しながら友や先輩、後輩との交流を深めてください。みなさんの創り上げる学園祭を楽しみにしています。

### 6月の主な行事予定

- 6月 3日(月) 第1回バイク通学者説明会(昼休み)、教育実習(～21日)
- 5日(水) AMカセット▲, 眼科検診(抽出者 蒼龍館)
- 7日(金) 教育相談
- 8日(土) 美術実技講習会(蒼龍館)
- 18日(火) ①②授業, ③LHR, ④⑤⑥蒼龍祭準備・リハーサル
- 19日(水) 蒼龍祭 第1日目(県民文化ホール)
- 20日(木) 蒼龍祭 第2日目<保護者公開>
- 21日(金) ①②カット, ③片付け・清掃, 午後授業  
2年 水害防災避難訓練(⑤15分程度)
- 24日(月) 留学生受け入れ(～7/19 2名)
- 25日(火) ⑦野球およびインターハイ等 壮行会
- 26日(水) 登校時マナーアップ運動
- 27日(木) 選挙管理委員会(昼休み)
- 29日(土) 進研総合学力テスト(1・2年)



## 【2学年リレー通信】



### 思い出の雄崩寮



2組担任 今福 康太

2024年3月31日、静岡大学雄崩寮(ゆうぼうりょう)が老朽化や入寮生の減少等に伴い、その歴史に幕を閉じた。私は大学時代の6年間、この寮に住んでいた。数年前に廃寮になることが決定したと報じられていたの  
で、気にはなっていた。そして今年の3月、家族で静岡に行く機会があったため、最後の記念にと思い寄って  
みた。私が青春時代を過ごした当時の面影を残しつつ、建物にはひび割れ等の破損が目立ち、庭や駐輪場には雑草  
が生い茂り、廃寮となることを実感するには十分だった。

私の大学生活(寮生活)は2001年4月1日、この雄崩寮で幕を開けた。この雄崩寮は5階建てなのだが、階  
ごとにも「〇〇寮」と名があり、私は2階の穆(ぼく)寮に配属された。入寮と同時に待っていたのは、過激すぎ  
る先輩たちからの「歓迎」だった。主な内容は以下の通りである。

- ①寮生は「家族」 : ポスおよび幹部みたいな人が寮を仕切っている。初日に家族の「盃」を頂戴した。
- ②寮歌披露 : 初見の寮歌を1時間でマスターし、先輩方に披露する。なぜか歌いだしの掛け声がドイツ語。
- ③風呂で自己紹介 : 穆寮の先輩方に、全身全霊を込めて(声量MAXで)自己紹介をする。每晚8時開催。
- ④早朝サッカー : 入寮式の日のサッカー大会に備えた練習。毎朝6時から1時間程度。
- ⑤根性試し : 深夜1時に叩き起こされ、一同で富士の樹海へ。いわゆる肝試し。

そして迎えた入寮式当日の朝、1年生が一人逃げ出した。さらに勝つことが義務付けられたサッカー大会で  
負けた。その結果、私たち1年生は部屋に集められ、ポス直々に「指導」を受けることになった。ポスに睨みつ  
けられ「蛇に睨まれた蛙」状態となった私たちだったが、なんとこのタイミングで逃げた1年生が先輩に捕ま  
り、部屋に連行されてきたのだった。我々は顔を見合わせ、「これは、ヤバいことになる…」と、一同放心状態  
に。数秒間の静寂(気が遠くなるほど長く感じた)の後、ポスはその1年生に「お前は誰だ?」と怒りに満ちた声  
で尋ねると、なんと彼は「お前こそ誰じゃー!!」と逆切れして怒鳴ったのだ。何が起こったのか理解できず、戸  
惑っていた私たちに、この4日間がドッキリだったことが告げられた。この雄崩寮は自治寮なので、各自が好き  
勝手に生活すると運営がうまくいかなるとの理由で、「教育」も兼ねて毎年この過激な行事が行われている  
とのことだった。雄崩寮では、寮内の清掃や電話当番、風呂当番などは全員で担当するし、毎年「寮生総会」(生  
徒総会のようなもの)が開催されていた。ちなみに、毎月の寮費は平日の朝夕食付きで約2万円である。

当時の寮生活についても少し触れておこう。先述の入寮式、そして卒業式の日には、静岡駅近くの公園までふ  
んどしまラソン(これを「ストーム」とよんでいた)を実施。法被・ふんどし姿の男子学生約100人が、「わっし  
ょい、わっしょい」と叫びながら走る光景が、現地の入学・卒業の時期の風物詩である。風呂場の前には卓球台  
があり、1戦交えてから入浴→風呂上がりにもう1戦→汗をかいてまた風呂…の光景が繰り返された。

また雄崩寮では、上記の新歓行事の影響からか特に階ごとの結束が強い。我が穆寮では毎年8月1日には富  
士山登山、2月には卒業旅行が開催された。そして娯楽室(各階にある)には、平日の昼間だろうが休日の深夜だ  
ろうが、いつでも必ず誰かがいた。天気が悪い日は何かと理由をつけて授業をサボる人がこの部屋に集まる。バ  
イト先でもらった食材をつまみに、毎晩のように宴が開催される。学校には行かないのに毎日パチスロに通う  
8年生(単位不足のため学年は3年)の先輩や、キムチ納豆と日本のカレーをこよなく愛するインド人、普段は彼  
女の家に居候し、別れた時だけ寮に戻ってくる後輩もいた。1部屋に2~3人で暮らしていたのでプライバシ  
ーは皆無に近かったが、その分密度の濃い、とても楽しい時間を過ごした6年間であった。

皆さんも、機会があったらぜひ「寮」に住んでみてほしい。集団生活の煩わしさが苦手な人も多いかもしれな  
いが、一人暮らしでは決して味わうことのできない、その「寮」ならではの貴重な経験ができるはずだ。